

## 1. 概 要

富山、石川、福井、岐阜の県境をまたいでそびえる白山連峰一帯を含む公園です。白山は富士山、立山と並ぶ日本三名山の一つです。雪をかぶった純白の姿から、古くは「シラヤマ」とも呼ばれ、泰澄大師が奈良時代の養老元年（717年）に開山した信仰の山として崇められています。

### (1) 自 然

#### ( 優美な火山景観 )

主峰の御前峰（2,702m）を中心とした大汝峰（2,684m）、剣ヶ峰（2,677m）が山頂部を形成し、付近に散在する翠ヶ池、紺屋ヶ池、千蛇ヶ池などの火口湖とあいまって、優美な火山景観を展開しています。

#### ( 高山植物の宝庫 )

残雪の多い高山部では豊富な高山植物が見られ、クロユリ、コバイケイソウなどの大群落は見応えがあります。ハクサンフウコ、ハクサンイチゲ、ハクサンコザクラ、ハクサンチドリ、ハクサンシャクナゲなど、白山にちなんだ名前の花が多数あります。

#### ( 広大なブナ林と大型動物の生息地 )

山腹の標高 500～1,500mではブナ林が広く分布し、谷沿いに見られるトチノキやサワグルミの林とともに野生生物の良好な生息地となっています。ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザルなどの大型ほ乳類や、イヌワシ、クマタカなどの大型猛禽類が数多く生息し、日本でも数少ない貴重な自然が残されています。



御前峰、剣ヶ峰



クロユリ



白水の滝



白山の山容

## (2) 利 用

年間利用者数は約 115 万人（平成 21 年）で、このうち登山者は約 4 万人です。中部山岳の山々に比べて登山者の数が少なく、静かな山歩きが楽しめる点が特徴です。

従来から各登山道の整備が図られてきたため、快適な登山が楽しめます。全体の 80 %ほどが利用する市ノ瀬口からは、頂上への最短コースの砂防新道や観光新道が続き、交通の便も良い登山口となっています。

一般観光利用の大部分は、昭和 52 年に開通した白山スーパー林道沿線の自然探勝と美しい苔で有名な勝山市平泉寺の探訪、大野市刈込池の自然散策で占められ、ほかに大白川ダムサイト及び白水の滝周辺の散策、並びに、中宮、岩間、鳩ヶ湯などでの温泉宿泊利用も見られます。



平泉寺白山神社



刈込池

## 2. 指定

昭和 30 年 7 月 1 日 白山国定公園指定  
昭和 37 年 11 月 12 日 白山国立公園指定

## 3. 面積

49,900 ha (拡張後)

## 4. 関係市町村 (6市1村)

富山県：南砺市なんとし

石川県：白山市

福井県：大野市、勝山市

岐阜県：高山市、郡上市くじょうし、(大野郡)白川村



市ノ瀬口

マイカー規制時のシャトルバス